
「電気メスの出力設定と術後経過に関する後方視的研究」に関するお知らせ

このたび、当院で診察を行った患者さんのカルテ情報を用いた以下の研究を実施いたします。本研究は、【総合医療センター研究倫理委員会】の承認を得て、病院長による許可のもと行うものです。

本研究では、患者さんに追加でご負担をお願いすることはありませんが、カルテ情報等を使用することに賛成でない場合、あるいはご質問がある場合は、患者さんご自身でもその代理人の方でも結構ですので、問い合わせ先までお申し出ください。お申し出いただいても不利益になることは一切ありません。

研究の概要について

1. 研究の対象となる方

2020年12月1日から2024年3月31日の期間に【埼玉医科大学総合医療センター】を受診し、良性子宮疾患(子宮筋腫/子宮腺筋症)および再発低リスク群相当の早期子宮体癌と診断され、ロボット支援下子宮全摘術を施行した患者さんを対象としております。

2. 研究の目的

ロボット支援下手術における電気メスの設定は術者に応じて各自設定を行っており、確立した設定がありません。当科ではロボット支援下手術導入時から各術者統一した電気メスの設定で手術を行ってきましたが、術後発熱や血液検査で炎症反応の上昇を認める方を一定数認めました。今回電気メスの設定を従来と比較し低出力設定としたところ同様の経過を辿る方が減少しました。今回電気メスの設定を変更することで、手術を受けた方々の術後経過にどのように影響を与えたか診療録を用いて考察を行いました。

3. 研究期間

病院長の許可後～2026年3月31日

4. 利用または提供の開始予定日

2025年6月5日

開始予定日以降も研究への利用停止などのお申し出に対応いたします。

研究に用いる試料・情報について

1. 試料・情報の内容

この研究で得られた患者さんの情報は、【埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科】において、研究責任者である木崎 雄一郎が、個人が特定できないように加工した上で管理いたします。そのため、患者さんのプライバシーが侵害される心配はありません。

2. 試料・情報の取得方法

良性子宮疾患および再発低リスク群相当の早期子宮体癌と診断されロボット支援下子宮全摘術を施行した患者さんの検査を実施した際に生じた検査データおよび診療記録等を用います。

3. 試料・情報を利用する者（研究実施機関）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 木崎雄一郎（研究責任者）

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 鮫島浩輝

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体胎児部門 宇佐美 拓哉

埼玉医科大学総合医療センター 総合周産期母子医療センター 母体胎児部門 松永茂剛

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 長井智則

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 高井泰

4. 試料・情報の管理責任者

【埼玉医科大学総合医療センター】 別宮好文 病院長

お問い合わせについて

ご自身のカルテ情報等を利用されたくない場合、あるいはご質問がある場合には、以下の連絡先までご連絡ください。

利用されたくない旨のご連絡をいただいた場合は、研究に用いられることはありません。

ただし、ご連絡いただいた時点で、既に研究結果が論文などで公表されていた場合、結果などを廃棄することができないことがありますので、ご了承ください。

埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 木崎 雄一郎

住所：〒350-8550 埼玉県川越市鴨田 1981 番地

電話：049-228-3681（土日祝日を除く 9：00～17：00）

○研究課題名： 電気メスの出力設定と術後経過に関する後方視的研究

○研究責任者： 埼玉医科大学総合医療センター 産婦人科 木崎 雄一郎